

R3. 2. 10 教育委員会会議資料（教育研修課・学校改革課）

西宮市立総合教育センター附属西宮浜義務教育学校の報告について

今年度開校した西宮市立総合教育センター附属西宮浜義務教育学校の現状について報告する。

資料

- ・西宮市立総合教育センター附属西宮浜義務教育学校（報告）

教育こども常任委員会 所管事務報告
資 料
令和3年3月9日

※報告日までは外部への
資料提供はご遠慮ください。

西宮市立総合教育センター付属
西宮浜義務教育学校について（報告）

教育委員会 学校教育部 教育研修課

教育委員会 学事・学校改革部 学校改革課

（通学路・小中一貫校担当）

開校までの経緯

平成10年 4月	西宮浜小学校、西宮浜中学校開校
平成30年 6月	西宮浜小中一貫校設置準備委員会設置
平成31年 3月	条例改正により義務教育学校設置決定
令和元年10月	令和2年度就学 就学説明会実施
令和2年 3月	西宮浜小学校、西宮浜中学校閉校
令和2年 4月	西宮市立総合教育センター付属 西宮浜義務教育学校開校
令和2年10月	令和3年度就学 就学説明会実施
令和2年11月	開校記念式典開催

目指すところ

西宮浜小、中学校の小規模化が課題となっていたが、西宮浜の学校は立地的に統廃合が難しいと判断し、地域の拠点として存続させる方向で検討を行い、小中一貫校である義務教育学校の設置に至った。

学校全体としての集団規模を大きくするとともに、西宮浜への就学を地域外からも可能とすることにより、集団の規模を継続的に維持していこうとしています。小中一貫教育で9年間を通じた多様な人間関係の中、学びと育ちの充実を図っていく方針です。また、総合教育センターの付属校とすることにより、義務教育学校の教員への指導や助言、授業の共同研究を通して得られた先駆的な取り組みの成果を、他の小中学校へ還元していくことを特色としています。

義務教育学校

子供の成長を連続して支える小中一貫教育にふさわしい学校運営体制を整えるために、これまでの小学校と中学校に加えて、新たな学校の種類として、改正学校教育法が平成28年（2016年）に施行され、令和2年度現在、全国の義務教育学校は国立4校、公立121校、私立1校の126校ある。（兵庫県では公立の6校）

修業年限は9年（前期課程6年、後期課程3年）であり、基本的には、それぞれ小学校および中学校の学習指導要領が準用される。

3

西宮市立総合教育センター付属校

西宮市立総合教育センターは教育研究、教員研修を中核業務とする機関である。付属校ではあるが、私立学校によく見られるような、理事会のもとに校長を置くといったような統括の関係とは異なり、教育課程など学校長の権限に属するもの、教育委員会の権限に属するもの、それぞれに対して学校と総合教育センターがそれぞれの立場の役割を踏まえ、連携して教育を推進していく関係である。

学校経営方針

学校教育目標

よりよい未来を切り拓く児童・生徒の育成

学校経営の基本コンセプト

①せかい(国際性・言語力)

国際的な視野を持ち、様々な人々と協働する力を育む教育を行う。

②じぶん(キャリア発達・人権感覚)

主体的に人生や社会を生きていくために必要な資質・能力を身につける教育を行う。

③ふるさと(郷土愛・つながり)

西宮浜や西宮の特徴を知り、活用し、地域に誇りと愛着を持つ子どもを育成する。

5

めざす子供像

- ①異なることを豊かさとし、人に優しく共に助け合う子供
- ②夢や目標を持ち、自立して未来を切り拓く子供
- ③ふるさとを愛し、ふるさとの発展に貢献できる子供

校訓

自立 (人にたよらず、自分で考え判断し、主体的に行動する)
協働 (多様性を尊重し、共に学びあい、支え合い、高め合う)
創造 (自分の可能性を信じ、夢を描いて自らの人生を切り拓く)

令和2年度重点目標

『西宮浜はひとつ

～誰もが安心できて、しあわせを感じる、あったかい学校～』

児童・生徒数

児童生徒数(2020.10.9)現在

	学年	通常学級	学級数	特別支援学級	特別支援学級数	特認校制度
Ⅰ期	第1学年	34名	1クラス	1名	2クラス	2名
	第2学年	33名	1クラス	3名		
	第3学年	39名	2クラス			1名
	第4学年	38名	2クラス			1名
Ⅱ期	第5学年	54名	2クラス	5名		3名
	第6学年	50名	2クラス	2名	2名	
	第7学年	92名	3クラス	3名	6名	
Ⅲ期	第8学年	55名	2クラス	1名	2クラス	5名
	第9学年	82名	3クラス	1名		1名
	合計	477名	18クラス	16名	4クラス	21名

7

カリキュラム編成の基本的な考え方

学年	1	2	3	4	5	6	7	8	9
教育課程の区分と指導上の学年区分(4-3-2制)	前期課程 小学校の教育課程に準ずる (小学校学習指導要領)						後期課程 中学校の教育課程に準ずる (中学校学習指導要領)		
	Ⅰ期 基礎期			Ⅱ期 充実期			Ⅲ期 発展期		
校舎	西校舎 (旧小学校校舎)					東校舎 (旧中学校校舎)			
教科指導形態	学級担任制					一部教科担任制		教科担任制	

時程表

前期校舎

I 期 (基礎期) 1~4年生	
登校完了	8:35
浜っ子I・朝の会	8:35 ~ 9:00
1校時	9:00 ~ 9:45
2校時	9:50 ~ 10:35
3校時	11:00 ~ 11:45
4校時	11:50 ~ 12:35
給食準備	12:35 ~ 12:55
給食	12:55 ~ 13:15
昼休み	13:15 ~ 13:35
清掃	13:35 ~ 13:50
5校時	13:55 ~ 14:40
終わりの会	14:45 ~ 14:55
6校時	14:45 ~ 15:30
終わりの会	15:30 ~ 15:40
最終下校	16:00 16:30

後期校舎

II・III期 (充実期・発展期) 5~9年生	
登校完了	8:30
朝学習・朝学活	8:30 ~ 8:50
1校時	8:55 ~ 9:45
2校時	9:55 ~ 10:45
3校時	10:55 ~ 11:45
4校時	11:55 ~ 12:45
給食準備	12:45 ~ 13:00
給食	13:00 ~ 13:20
昼休み	13:20 ~ 13:35
清掃	13:35 ~ 13:50
5校時	13:55 ~ 14:45
6校時	14:55 ~ 15:45
終学活	15:50 ~ 16:00
	18:00 (3~9月)
最終下校	17:30 (10月・2月)
	17:00 (11~1月)

※ (黄色マーカー部分) は、意図的に東西の校舎で時間をそろえています。

9

学校生活の様子

入学式・進級式

1年生の入学式と7年生の進級式が行われました。今年度はコロナウイルス感染防止のため、西校舎のグラウンドで行いました。日差しの中でしたが、4年生からのメッセージが放送で流れ温かいムードの式になりました。



新校歌の披露

校歌も新しくなりました。西校舎ではリーダーの4年生が1年生に新しい校歌を披露しました。美しい歌声で1年生の子供たちも体を揺らしながら、一生懸命聞いていました。

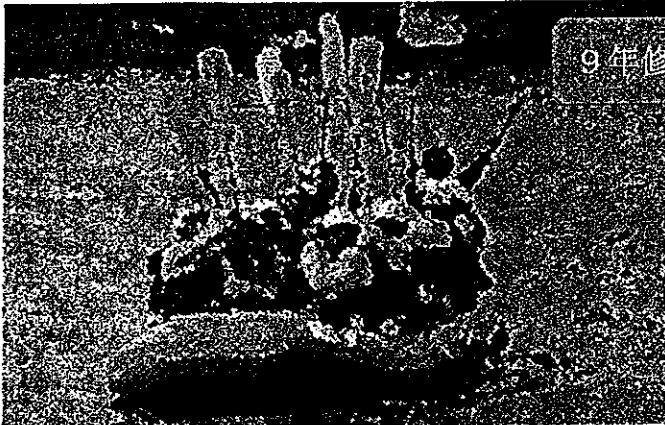


← 4年生

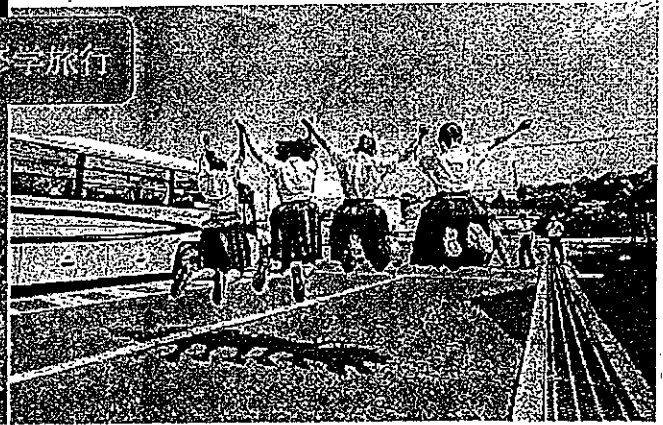
← 1年生

修学旅行・自然学校

ピンチをチャンスに！いつもとは違う修学旅行＆自然学校



9年修学旅行



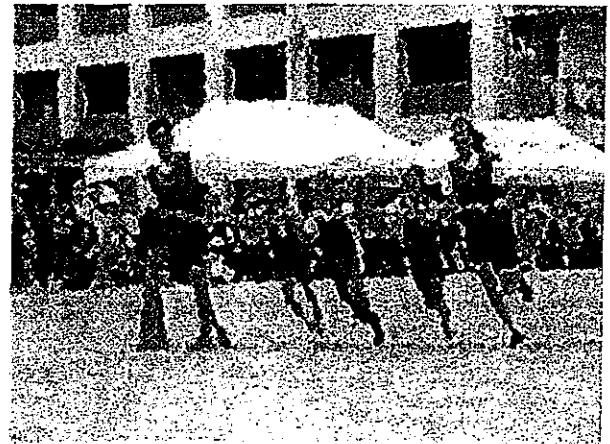
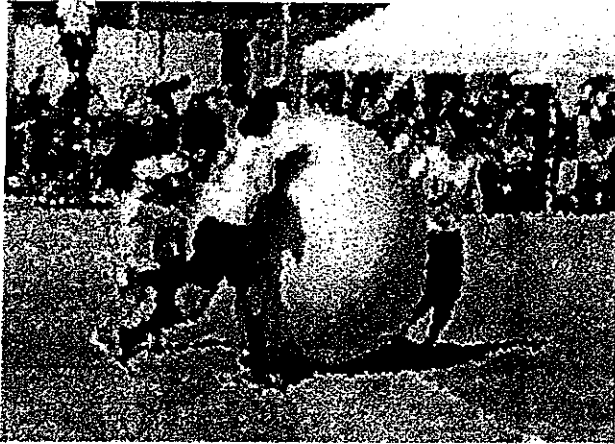
5年自然学校



マリナフェスティバル（マリナスポーツデー）

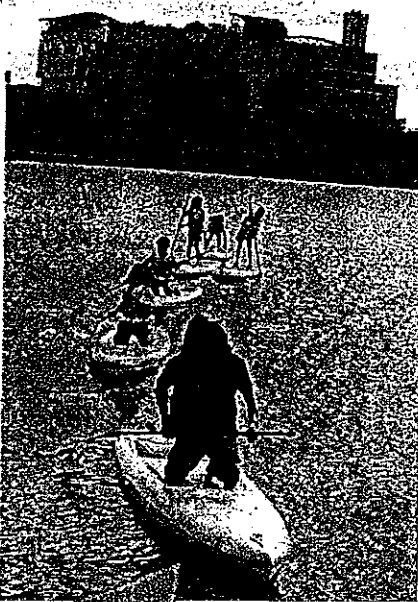
全校で行う運動会です。低学年が憧れのまなざしで見ると9年生の組み立て体操やダンスや、1年生と9年生がペアとなる大玉転がしが目玉です！今年度はコロナウイルスの影響で縮小して行われました。

（写真は令和元年度のもの）



13

SUP体験 遊覧船体験



3年生SUP体験
11個前浜

5年生遊覧船体験



3年生と5年生はふるさと「西宮浜」を理解することを目的に、海での体験学習を取り入れています。御前浜でSUP体験をした後、5年生は遊覧船に乗って、自分たちの住む西宮浜を海から見るという学習をしました。

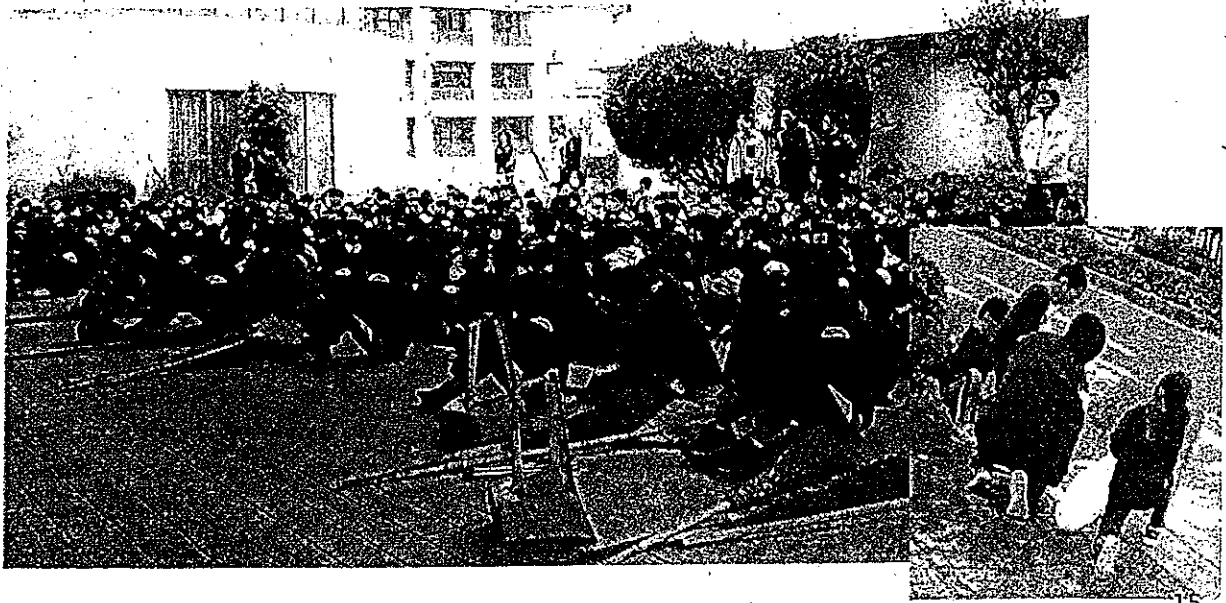
14

マリナワーク

1～9年生までが縦割りのグループとなって、西宮浜の町中を掃除する行事です。

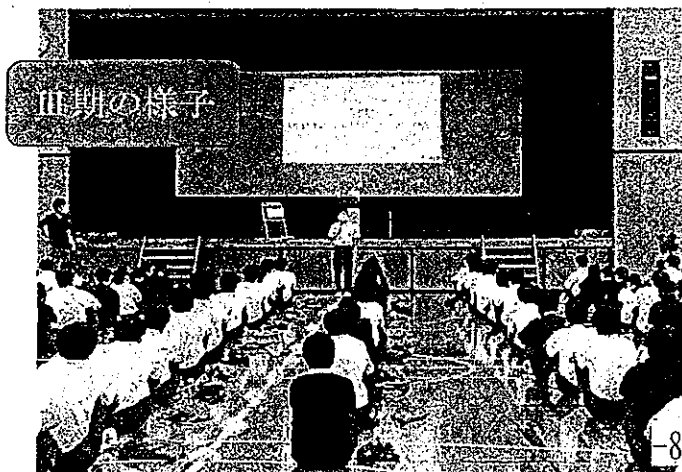
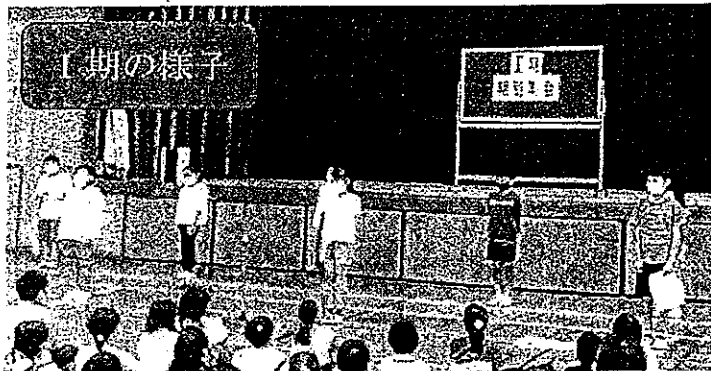
低学年の子どもたちを丁寧に指導する高学年の姿が印象的です。

(写真は令和元年度のもの)



15

期別集会



期別に分かれて、それぞれの発達段階に応じた具体的な目標について考えました。

8

16

クラブ活動



部活動と連動して4～6年のクラブ活動を行っています。



のびのび教室

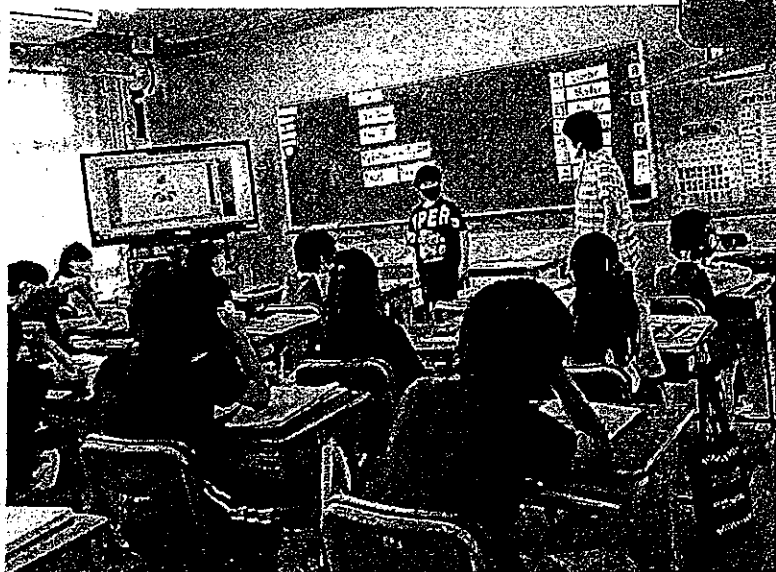
西校舎での放課後学習会の事です。週に3回放課後に残って、宿題をしたり、タブレットでドリル学習をしたりと、意欲的に取り組んでいます。参加率もとても高いです！



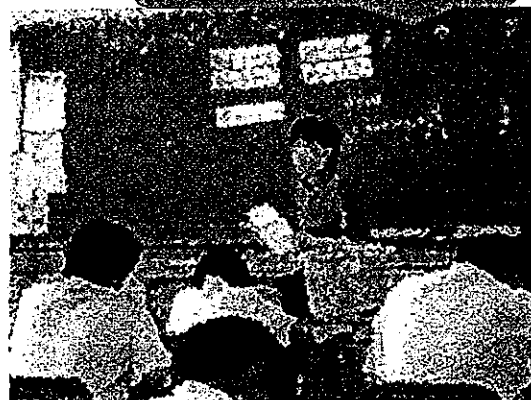
授業風景

東校舎では、後期課程の教師が前期課程の授業をしています。後期の先生の専門性を活かして、外国語、算数、音楽、家庭科などの授業を教科担任で行っています。

5年生の英語の授業

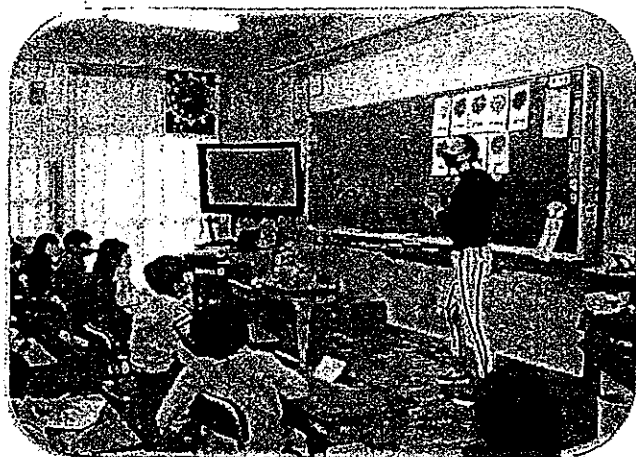


7年生の英語の授業



19

英語・外国語教育

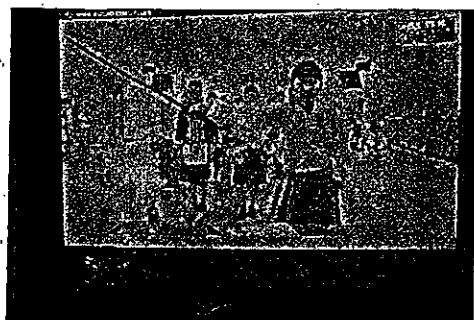


1年生から外国語に触れ、継続的な指導を行っています。



中学校教員が5、6年の英語の授業を担当しています。

英語・外国語教育



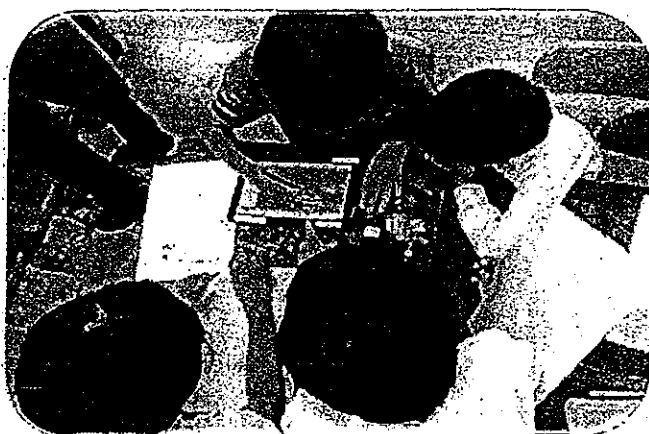
6年生の児童と台湾のヴィクトリア小学校の6年生がスカイプで交流をしました。それぞれの国の事を質問し合ったり、今夢中になっているものを教えてもらったりしました。



校外学習の時に英語でインタビューをしました。（令和元年度）

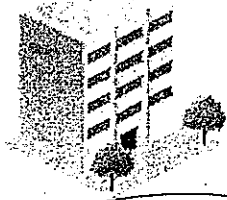
21

プログラミング教育



令和元年度は国立教育政策研究所教育課程研究センター教育課程研究指定校事業の指定を受けて、プログラミング教育について研究を進めました。

総合教育センターとの連携

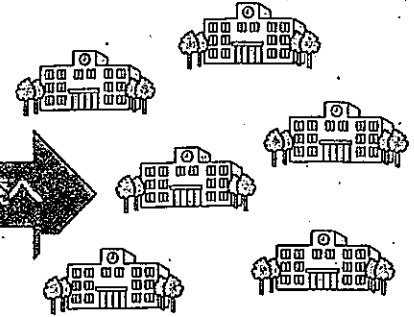


学校内に西宮浜分室を設置
指導主事と主任研修指導員が常駐

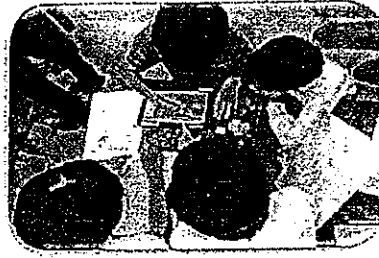
日常的な授業研究
や指導助言

先進的な学習活動
の展開

市内各校へ



主体的・対話的で深い学びの
実現に向けた授業改善



プログラミング教育・ICT



外国語、外国語科

23

ICT活用

- ・兵庫教育大学との連携協定による教員研修（8月）
- ・タブレット配備を5, 6, 7年生で先行実施（9月）
- ・教員と指導主事との共同研究



授業案検討



授業後の振り返り

- ・実践事例の市内への展開



日	場所	内容
8月	兵庫教育大学	研修
9月	市内各校	実践事例の展開

項目	内容												
目的	授業研究の促進、実践事例の共有、ICT活用の推進												
対象	市内各校の教員												
実施方法	市内各校を巡回し、授業を観望し、指導主事と共同研究を行う												
実施内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>導入</td> <td>実践事例の共有、ICT活用の推進</td> <td>実践事例の共有、ICT活用の推進</td> </tr> <tr> <td>展開</td> <td>実践事例の共有、ICT活用の推進</td> <td>実践事例の共有、ICT活用の推進</td> </tr> <tr> <td>まとめ</td> <td>実践事例の共有、ICT活用の推進</td> <td>実践事例の共有、ICT活用の推進</td> </tr> </tbody> </table>	7月	8月	9月	導入	実践事例の共有、ICT活用の推進	実践事例の共有、ICT活用の推進	展開	実践事例の共有、ICT活用の推進	実践事例の共有、ICT活用の推進	まとめ	実践事例の共有、ICT活用の推進	実践事例の共有、ICT活用の推進
7月	8月	9月											
導入	実践事例の共有、ICT活用の推進	実践事例の共有、ICT活用の推進											
展開	実践事例の共有、ICT活用の推進	実践事例の共有、ICT活用の推進											
まとめ	実践事例の共有、ICT活用の推進	実践事例の共有、ICT活用の推進											

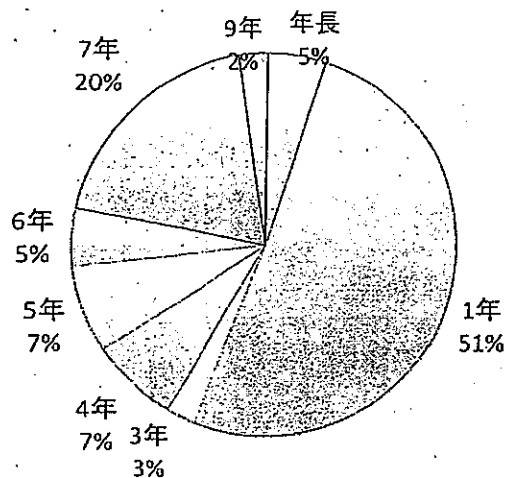
令和2年度 就学説明会 実施状況

開催日時：令和2年10月31日（土）10:00～ （場所：西宮浜義務教育学校）

参加：49世帯（73人）

1. 通学対象者新学年

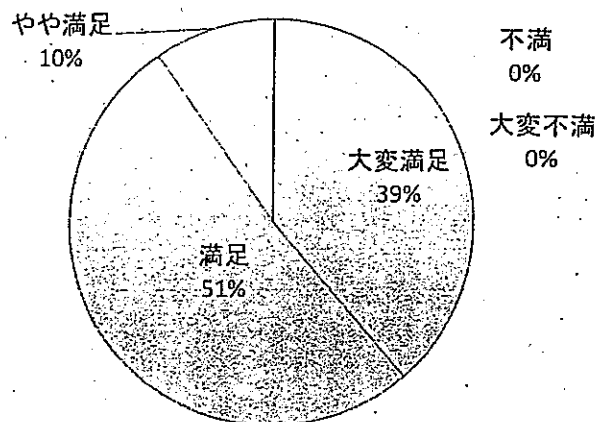
新学年	年長	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	合計
人数	2	21	0	1	3	3	2	8	0	1	41



3. アンケート結果

(1) 学校説明会の内容

内容	大変満足	満足	やや満足	不満	大変不満
人数	12	16	3	0	0



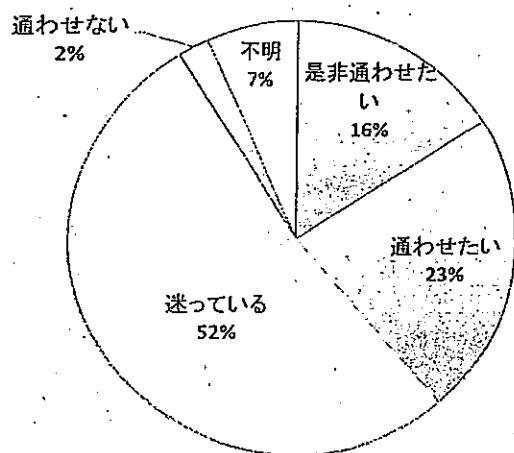
2. 通学手段

自家用車(2)、バス(18) 電車・バス(9)、徒歩(2)

25

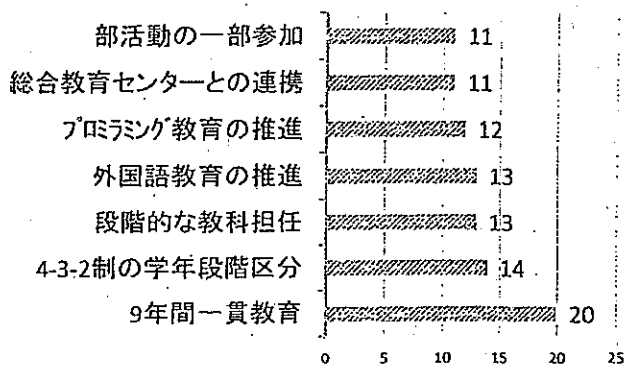
令和2年度 就学説明会 実施状況

3. アンケート結果 (2) 通学への興味



内容	人数
是非通わせたい	7
通わせたい	10
迷っている	23
通わせない	1
不明	3

3. アンケート結果 (3) 魅力に感じたこと



4. 主な質問、意見等

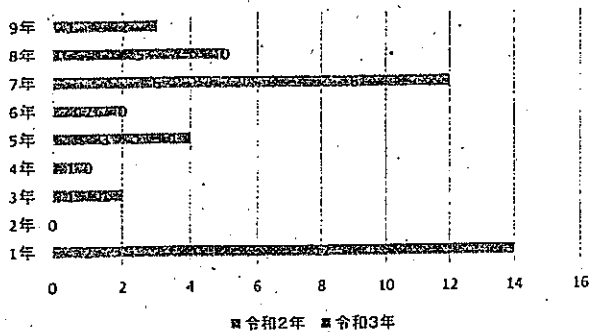
- ・給食のアレルギー対応について
- ・総合教育センターとの連携について
- ・卒業式について
- ・募集時の兄弟枠について
- ・学習面での特色について
- ・防災面について

-13- 育成センターの空き状況について 26

就学状況

令和2年就学、令和3年就学予定状況

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	合計
令和2年	2	0	1	1	3	2	6	5	1	21
令和3年	12	0	1	0	1	0	6	0	2	22



※令和3年の就学予定者は、26名であったが、4名の辞退した。
 コロナ禍における公共交通機関を利用する通学に対する不安が出たため。
 ※通学予定手段は、バスが13人、電車バスが4人、その他が5人の予定

通学区域特認校 保護者の声

- ・小規模ならではの決め細やかな指導(8)
- ・ICTなど先進的な教育の推進(3)
- ・異学年交流による子供の成長(2)
- ・外国語教育の推進(2)
- ・小規模で落ち着いた教育環境(3)
- ・学童に空きがある
- ・車での送迎が可能
- ・中一ギャップの解消
- ・自立を教訓とした学校



西宮浜義務教育学校運営の基本コンセプトの取組状況と今後の方向性

9年間を見通し、4-3-2という学年ブロックごとに校訓を基にした目標を設定し、発達段階に即した指導を実現

せかい（国際性・言語力）

国際的な視野に立ち、様々な人々と協働する力を育む教育を行う。

【現状・短期的取組】

- ◆台湾のビクトリア小学校と Skype を用いての交流
- ◆1～9年生までの外国語の年間カリキュラムを作成
- ◆ALT 教員を年間通して配置
- ◆中学校教員が5,6年生の英語の授業を担当
- ◆県立国際高等学校との連携・協力



【中・長期的取組・展望】

- ◇国際交流を通じたグローバル人材の育成
- ◇プログラミング教育の系統的なカリキュラムを作成し、論理的思考を育成

じぶん（キャリア発達・人権感覚）

主体的に人生や社会を生きていくために必要な資質・能力を身に付ける。

【現状・短期的取組】

- ◆既存の取組(マリナフレンズ)に加え全校集会や期別集会を通して異学年交流を推進
- ◆総合教育センターとの連携による、主体的・対話的で深い学びを進めていくための授業改善 (ICT 機器の活用)
- ◆トライやる・ウィークと連携し、多様な職業の人から話を聞く機会を設けるなど、キャリア教育の充実
- ◆5,6年生による部活動への体験的な参加を通じた主体性の育成

【中・長期的取組・展望】

- ◇多様な学びから生まれる、多様な進路先の選択

ふるさと（郷土愛・つながり）

西宮浜や西宮の特徴を知り、活用し、地域に誇りと愛着を持った子供を育成する。

【現状・短期的取組】

- ◆海や浜を生かした活動 (SUP・クルージングによる街の観察)
- ◆トライやる・ウィークにおける地域防災の取組
- ◆メモリアルスペースの設置 (学校図書館と共に地域へ開放)
- ◆9年間の縦断的かつ教科横断的なカリキュラムの作成



【中・長期的取組・展望】

- ◇ふるさとをテーマとした探究的な学習により、環境や防災の観点から地域社会を考える

学校教育目標 : よりよい未来を切り拓く児童・生徒の育成

校訓 : 自立 協働 創造

先進的な取組（総合教育センターとの連携を含む）

(1) ICT の効果的な活用

- ・全市展開に先駆けて5,6,7年生へタブレット端末（よりハイスペックなもの）を配備し、先進的な取組の推進
- ・子供一人ひとりの得意、不得意に応じる個別最適化された学習の実現

(2) 授業力・教育力の向上

- ・指導主事および主任研修指導員による日常的な授業参観や指導、振り返り
- ・教科ごとにタブレット端末を効果的に用いる授業研究を指導主事と共に実施

(3) 大学との連携

- ・兵庫教育大学：ICT 活用研修会の実施
- ・神戸女学院大学：放課後学習「のびのび教室」への協力
理科実験教室・環境教室の実施
- ・武庫川女子大学：総合的な学習の研究
「こころん・サーモ」による子供の心理状態の把握



その他の特色ある取組

(1) 学校図書館の充実と地域開放

- ・学校司書を配置し、発達段階に応じた蔵書を充実させ読書に親しむ環境を整備
- ・10/2 より前期校舎の学校図書館を地域に開放するとともに、図書館端末を設置し、市内図書館の蔵書の貸し出しを実現



(2) 子供一人ひとりを大切に

- ・生徒指導主任、特別支援教育コーディネーターを中心とした支援体制の確立
- ・新たに相談室を設置し、子供の居場所づくりときめ細やかな支援

(3) コミュニティスクールとして

- ・令和2年度にパイロット校として学校運営協議会を設置し、学校、家庭、地域が協働しながら子供たちの成長を支援